

令和4年度の重点課題

○握力が男女ともに、広島県かつ全国平均値を下回ったため、握力向上につながる取組をしていく必要がある。

○新型コロナウイルス感染症の影響もあり、特に放課後で遊ぶ児童数が減少している。それに伴い、体を動かすことに抵抗があったり、機会が失われていたりしていると考えられる。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 体全体をリズムカルに動かし、体力向上を目指した「小方っ子体操」をつくり、体育科の授業の準備体操として行う。
- 握力向上を目指し、毎月握力強化週間を設ける。
- ハンドグリップを各学級に配布し、毎日10回以上握る運動に取り組む。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.63	20.17	33.49	41.52	52.08	9.44	152.87	24.89	54.85	第5学年	15.93	20.88	40.37	42.36	42.60	9.44	154.15	16.17	58.95

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.63	20.17	33.49	41.52	52.08	9.44	152.87	24.89	54.85	第5学年	15.93	20.88	40.37	42.36	42.60	9.44	154.15	16.17	58.95

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	75.93	14.81	3.70	5.56	第5学年	70.45	22.73	2.27	4.55

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 小方っ子体操を準備体操にあて、曲にあわせ体全体を動かす。
⇒しゃがむ、ジャンプ、伸ばす、ねじる、体幹を鍛えるなどの動きが盛り込まれているため、体の各部位が刺激される。
- 授業の中で、握る・投げる運動を、授業のウォーミングアップ等で十分に確保する。
○ペアで協力してストレッチを行い、柔軟性の伸長をはかる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 握力強化週間を設け、握力を計測し、自己記録更新を目指す。
⇒各学年握力ランキングを掲示し、意欲を高める。
- 各学級にハンドグリップを配り、毎日にぎにぎ運動を行わせる。
- 各家庭で、お風呂上がりのストレッチをしていただくよう促し、柔軟性の伸長をはかっていく。

重点課題

- 男子は、長座体前屈をはじめとした、幅広い分野で県平均かつ全国平均を下回る結果となった。
- 女子は、握力のみ県平均かつ全国平均を下回った。

よって、本校の重点課題は、長座体前屈及び握力と設定し、体力向上を意識した取組のもと、改善をはかっていく。

令和6年度の重点目標値

- 握力、長座体前屈について、県平均かつ全国平均を上回る。
- 運動が好きだと答える児童の割合を80%以上にする。